



事務局 甲斐由美子

2024年8月に入社した甲斐由美子さんは、事務局に所属し日々業務に邁進しています。「周囲の方に支えられ今がある」と、感謝を渗ませる甲斐さんに、仕事への向き合い方や今後の展望を伺いました。

入社きっかけと、現在の業務内容を教えてください。

私が社会福祉法人千寿会を知ったのは親戚の紹介からです。面接では介護の仕事の経験もなく、資格もない私に「よかよか！とりあえずやってみなっせ！」と理事長が笑顔で背中を押してください、私も安心して入社できました。

現在は事務全般を担当しています。その中でもメインは介護保険の請求業務ですが、事務所から利用者様の様子がわかるため、状況を見て介護職の方の補助に入る場合もあります。入社して3か

月目の頃に管理者の毛利さんからの勧めで、認知症介護基礎研修を受け、ケアワーカーの資格を取得しました。介護についての理解が深まり、研修内容を業務にも活かしています。資格が取れることを教えていただき、働きやすいようにサポートしていただける環境に感謝しています。

前職の経験が今の業務に生きている部分はありますか。

前職は営業職で、老若男女全ての方を対象に、コミュニケーションを大切にしてきました。介護の仕事は対象が高齢の方。認知症の方も多く難しい部分もありますが、何よりコミュニケーションが重要であるというのは変わりません。これまでの経験を活かしながら、笑顔を忘れずに取り組んでいるところです。利用者様はもちろん、ご家族様や温かい声をかけてくださる近隣の方々と



も、関わり合いを大切にしていきたいと思っています。

前職ではお客様からお叱りを受ける場面もありましたが、気持ちは伝わるものだと考え、言葉と対応で誠心誠意尽くすことを心がけてきました。日頃から相手を気にかけて、率先して動く気持ちを持つことが、仕事に限らず人との繋がりで大事になってくると考えています。

仕事をする上で意識していることは何ですか。

基本的には私の仕事は事務職で、介護の知識も経験もゼロからのスタートでした。そういった中でも「私に何ができるだろう」と常に考えています。例えば、以前廊下で前方に車椅子の方が見えて、時間帯と向かっている方向から「トイレに行かれるのだな」というのがわかりました。トイレの中を確認して、車椅子でも入れるようにドアを開けて電気をつける。そして「職員さんをお願いしますね」と声をかけることは、私にもできます。そんなちょっとしたお手伝いでも、嬉しそうに「ありがとうございます」と言っていただき、私の心も温かくなりました。できることは少なくとも、いつも意識して周囲を観察し、何か見つけて動き回ろうと日々過ごしています。

千寿会の魅力を教えてください。

この職員の方たちを見ていると、勤める前にイメージしていた以上に、「そんなことまでするの！」と思うほどの気遣いを目にし、本当に家族のように利用者様と接していると感じます。例えば認知症が進み、病院の受け入れが難しい方でも「うちが面倒をみます」と迎え入れたり、通所介護のお迎えを拒否されても、「ダメだったけどもう1回行ってくる」と、根気よく何度も向かわれたり。病院では暴れていたと聞いていても、ここへ来るとそんな風に思えないほど穏やかに過ごしておられる方もいて、情の厚さ、温かさをとても感じます。皆さんがそうされていて、自然と私も何かしなくては、という思いになります。

今後の目標をお聞かせください。

まだまだ覚えることが多く、特に介護請求に関しては1から教わり、今も辞書とインターネットとにらめっこで行っている状態。毎日一つひとつ確実に知識を増やし、スキルアップを目指します。

職員も利用者様も面白い方たちばかり。私も皆さんを元気にできる存在でありたいと思っています。

恵まれた職場環境に感謝しながら日々全力で業務に励む甲斐さん。その姿は周囲にも良い影響を与えているに違いありません。これからも前を向き、走り続けていく姿に期待が高まります。



我が施設が誇る!

責任感No.1スタッフ

安心・安全な施設運営をするために、責任感は欠かせません。
「責任感No.1」に選ばれた石山さんは、新人の頃の経験から責任感が芽生えたと
いいます。そのきっかけと業務で大切にしているポイントを伺いました。

No.1!



陽光園東館
ユニットリーダー
いしやま あやか
石山 彩夏さん

No.1に選ばれた率直な感想

選んでいただきびっくり!

「びっくりした」というのが率直な感想です。上司から「名前を挙げといたけん」と言われましたが、実際に責任感No.1に選ばれて驚きました。そのことも2か月ほど前に言われていたため、今回の取材で思い出してまたびっくりしました。

仕事で大切にしているポイント

メリハリある業務への取り組み方と、 笑顔を生む接し方

利用者様に笑顔になってもらうような接し方を心がけています。以前いらっしゃった利用者様に「彩ちゃん」と下の名前で呼んでいただきました。まるで孫娘のように可愛がっていただき、とても嬉しかった思い出があります。普段の仕事では、**真面目なときは真面目に、楽しいときは楽しくと、メリハリを意識**しています。楽しい中でも利用者様の安全のための見守りを疎かにしてはいけません。**責任を持ちながら楽しくコミュニケーションを取っていくことで、家族のような関係性を構築できる**と思います。また、抱え込み過ぎてしまわないよう、ドライブやライブに出かけて気分転換をしています。

より責任感を高めるために 努力していきたいこと

利用者様に気持ち良く過ごしていただくために、責任感の他にも磨かねばならないことがたくさんあります。例えばコミュニケーション能力の向上。私は考えてから言葉にするタイプなので、咄嗟に出た言葉が相手を傷つけたり、不快にさせたりしていないかを気にしています。安全などへの危機意識を他の職員と一緒に高めていくために、強制するのではなく、**さり気ない促しができるようにしたい**と思っています。

No.1に 結びついたところ

日頃から責任を持って業務に 取り組んできたことの積み重ね

責任感はある日突然身につくものではありません。2013年、まだ経験も浅い新人の頃に利用者様が転倒されたことがありました。利用者様はもちろん、信頼してお任せいただいているご家族様にも申し訳ない気持ちになり、**大切なご家族をお預かりしていることの重大さを痛感**しました。これをきっかけに仕事への責任感が芽生え、安全への意識や、利用者様に気持ち良く過ごしていただけるような仕事への取り組みに繋がってきました。その積み重ねが、今回の選出に結びついたのだと思います。



私を変えた!

人生の先輩からの アドバイス

思わず立ち止まって聞いた先輩の言葉、心に刻まれた利用者様の言葉。
あなたにもありませんか?心に残る言葉たちが、
職員一人ひとりをどのように形作ってきたのか。
その軌跡をぜひご覧ください。

● 当時の心境

「受け入れること」の重要性を実感

「相手」には利用者様だけでなく、チームメンバーも含まれます。気付かされたのは、自分がどれだけ独りよがり業務を行っていたかということ。相手の気持ちや意見を受け入れることの大切さ、介護者の数だけアプローチにも違いがあるこの仕事の奥深さも、同時に知ることができました。

● 今の私に繋がった行動の変化

気持ちの余裕が繋いだ笑顔の輪

心にゆとりを持てるようになり、チームメンバーとの連携がスムーズになりました。利用者様に対しても、「今どんな思いでいらっしゃるのか」と考える時間が増え、それに沿うような対応ができるようになりました。今のモットーである「相手の笑顔を引き出す」を形作る大きな要素の一つとなりました。



デイサービスセンター陽光園
ケアリーダー 地域支援担当
はやしだ こういち
林田 浩一さん

心に残っている先輩の言葉

「介護ってこれが正解!ってものはなくて、
相手のことをどれだけ
考えているかが大事。」

10年以上前に職を離れた先輩からの言葉です。私は新人の頃、「こうしなくちゃいけない」という凝り固まった考え方で仕事をしていました。そのため、チームメンバーとぶつかってしまうことも。そうした状況でいただいたアドバイスです。

● 当時の心境

「自信を持っていない私でも、その方には女神様のように特別な人に見えるのだ」、「きちんと私の存在を認めてくれる人がいるのだ」と救われた気持ちになりました。心も豊かになり、気持ちを切り替えることができました。

● 今の私に繋がった行動の変化

人は変わる

仕事をしていると、理不尽に思えること、落ち込むことはたくさんあります。ときにはストレスを抱えてしまうことも。それでも、きちんと私たちの存在を認めて、待ってくださっている方はきつといます。そうした思いはヘルパー間でも共有し、困難なことも「まずはやってみよう」と前向きに行動していきます。これからも魔法の言葉と感謝の気持ちを忘れず、相手や自分に幸せの神様がやってくるように真心を伝えていきたいと思っています。



ヘルパーステーションひまわり
主任
いざわ みすず
井澤 美鈴さん

心に残っている利用者様の言葉

「女神様、ありがとう!」

13年ほど前、現在の部署へ異動したときのことで。当時、「私にはヘルパーはできない」との思いが強く、不安を抱えたまま仕事をしていました。自信を失っていたとき、ある認知症の利用者様との出会いが。その女性からいただいた魔法の言葉です。